

第四十回帝國議會
衆議院

市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案委員會會議錄(筆記)第一回

委員會成立

本委員ハ大正七年三月十六日議長ノ指名ヲ以テ左ノ通り選定セラレタリ

渡邊 祐策君 根本 正君 小田切磐太郎君

長田 桃藏君 荒川 五郎君 大津 淳一郎君

樋口 秀雄君 福田 辰五郎君 川口 木七郎君

同月十八日午後一時十五分委員長理事互選ノ爲各委員參集ス其ノ氏名左ノ如シ

渡邊 祐策君 根本 正君 荒川 五郎君

樋口 秀雄君 福田 辰五郎君 川口 木七郎君

長田 桃藏君 根本 正君 荒川 五郎君

年長者根本正君投票管理者トナル

○投票管理者(根本正君)ハ委員長及理事ノ互選ヲ行フヘキ旨ヲ宣告ス

○投票管理者(根本正君)ハ投票ヲ用井ス渡邊祐策君ヲ委員長ニ推薦シ理事ハ其ノ

數ヲ一名トシ委員長ノ指名ニ一任スヘシトノ意見ヲ提出シ之カ贊否ヲ各委員ニ諮ルニ

各員異議ナキ旨ヲ答フ

○投票管理者(根本正君)ハ渡邊祐策君ハ委員長ニ當選シタル旨ヲ宣告ス

(此ノ時投票管理者退席シ渡邊祐策君委員長席ニ著ク)

○委員長(渡邊祐策君)ハ福田辰五郎君ヲ理事ニ指名シ引續キ會議ヲ開クヘキ旨ヲ

宣告ス

會議

出席政府委員左ノ如シ

文部次官 田所 美治君

文部書記官 山崎達之輔君

文部省普通 學務局長 赤司應一郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案

(以下速記)(午後一時十九分)

○委員長(渡邊祐策君) ソレデハ今カラ開會致シマス

○根本正君 一應政府ノ御説明ヲ受ケル前ニ私承リマスガ、此度ノ市町村立小學

校教員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案アリマスガ、本件ニ付テハ私ガ大正

六年七月四日ノ本會テ質問ヲシタコトデ、即チ此小學校ト云フモノハ最モ國家ノ必要

ナモノデアル、幸ヒ我日本國ニ於キマシテハ、明治初年ニ於テ教育ノコトニ付テハ中村敬

宇先生或ハ福澤先生ノ如キ人ガアリ殊ニ文部當局トシテハ森子爵ノ如キ有力ナ人ガ

アツテ、小學校ノ夫レ組織の法令モ出來タ、然ルニ此小學校教員ノコトニ付キマシテ、

基礎ハ立テラレタケレドモ、待遇ト云フモノガ甚ダ不完全ニナッテ居アデ、此退隱料ノ如

キハ百圓以下ノ人ノ爲ニハ退隱料——普通文官ノ恩給料ノ如キモノハ夫レ下サルガ、

百圓以上ニナッタ人ハ未ダ其表ガ出來テ居ラヌモノデアルカラシテ、政府ヨリ頂戴スベキ

所ノ金額モ實フコトガ出來ナイト云フヤウナ、甚ダ不完全ナル法律ノ結果デアッタノデア

リマス、然ルニドウカ完全ナル法律ヲ以テ、相當ノ給料ニ對シテ恩給即チ此退隱料ヲ下

サルヤウニシタイト云フタキニ、此質問ノ中ニハ唯ダソレノミナラズ、其外ニモ一ツ程アツ

テ、當時質問ヲシテ置イタルデアリマス、其結果トシテ此度其中ノ退隱料ト云フモノガ、

百圓以下ノミナラズ百三十圓迄ノ改正案ガ出タト云フノハ、本員トシテ政府ノ御注意

ニナッタコトヲ國家ノ爲ニ感謝スル所デアリマス、此退隱料ノ外ニ二箇條其當時質問ヲ

シテ置イテ、政府當局ニ於キマシテモ其事ニ付キマシテ、調査ヲスルト云フヤウナ意味ノ

御答辯ニモナッテ居リマスガ、其事ニ付テ一應伺ッテ置キタイト云フデアリマス、其第一

ト云フノハ此勅令第百三十三號ノ明治三十三年發布デアアル市町村立小學校教員加

俸金第三條ト云フモノガアル、其中ニ此五年以上ノ下ニ「同一府縣内」六字ヲ除キ、

又同時ニ此勅令ノ下ニ「地方長官ニ於テ成績優良ナリト認ムル」ト云フ十六字ヲ是非

削ッテ御覽ヒシタイ、其理由トシテハ小學校教員ノ免許狀ト云フモノガ、昔ハ其縣内ダ

ケテ有效デアッタケレドモ、今日トナッテハ其縣ノミナラズ、假ニ東京府ノ免許狀ヲ持ッテ居

ル者デモ、北海道ニ行ッテ其職ニ就クコトガ出來ルト云フヤウデアアルカラ、矢張其意味ト

同ジヤウニ——小學校ノ教員ニナルコトガ出來ルノデアアルカラ、各府縣ニ行ッテ勤メルコ

トガ出來ルヤウニナッテモ、之ニ對スル年功加俸ト云フモノガ減ルノハ甚ダ遺憾デアアルカ

ラ、是ハ是非遣ルヤウニシタイト云フノガ其中ノ一ツデアリマス、第二ハ即チ此度ノモノデ

是ハ既ニ此度法律トナッタデアリマスカラ敢テ御尋ゼズトモ宜シイデアリマス、此事ニ

付テ一應政府ノ本案ニ對スル説明ト共ニ、是等ハドウ云フ風ニナッテ居ルカ、其儘ニナッ

テ居リマスガ、又ハ何カ御調査ニナッテ居リマスガ、一應伺ッテ置キマス

○政府委員(田所美治君) 一應本案ノ大體ヲ申上ゲマシテ、併セテ今根本サンカラ

御尋ノ點ヲ御答申上ゲマス、今御審議ヲ求メマスノハ唯ダ表デケノ改正デアリマシテ、是

丈ヲ御覽ニナリマス誠ニ何ノ事デカ明瞭ヲ缺クヤウデアリマスガ、唯今御手許ヘ差上ゲ

マシタ參考ノ表ヲ御覽ヲ願ヒタウ存ジマス、ソレハ唯今根本サンノ御話ノ通り、昨年政

府ニ向ッテ御氣付ニナリマシタ一ツデアアルデアリマス、ザット申上ゲマスレバ、唯今ノ市町

村立小學校教員ノ退隱料遺族扶助料ト申シマスモノハ、普通官吏ヨリモ少シ其待遇

ヲ厚ウスル、斯ウ云フ事デ出來テ居リマスノデ、明治三十何年頃カラ改正ニナリマシテ、

俸給ハ御承知ノ通り今同ノ千萬圓ノ支出ヲ得マス迄ハ、御承知ノ通りノ貧弱ナ狀況

デアッタデアリマス、此退隱料ニ付テハ——即チ官吏ノ恩給ニ準ズル退隱料ニ付キマシ

テハ、唯今改正スベキ表ノ如ク極メテ小刻ミニシマシテ、十五年在職シテ居ル者ヲ基ト

シテ、ソレカラ十六年十七年十八年ト段々ニ累加致シマシテ四十年ノ勤續迄細カク刻

ミマシテ、退隱料ヲ厚ク給スル仕方デ出來テ居リマス、言換ヘレバ官吏ノ恩給ハ十五年

勤續デ、四分ノ一カラ始ッテ二分ノ一デ終リマス、小學校教員ハ始リハ官吏ト同ジク四

分ノ一デアリマスガ、勤續ガ四十年ニ至リマスルト三分ノ一二ニナッテ居リマス、現在ノモノ

分ノ一デアリマスガ、勤續ガ四十年ニ至リマスルト三分ノ一二ニナッテ居リマス、現在ノモノ

分ノ一デアリマスガ、勤續ガ四十年ニ至リマスルト三分ノ一二ニナッテ居リマス、現在ノモノ

分ノ一デアリマスガ、勤續ガ四十年ニ至リマスルト三分ノ一二ニナッテ居リマス、現在ノモノ

分ノ一デアリマスガ、勤續ガ四十年ニ至リマスルト三分ノ一二ニナッテ居リマス、現在ノモノ

分ノ一デアリマスガ、勤續ガ四十年ニ至リマスルト三分ノ一二ニナッテ居リマス、現在ノモノ

分ノ一デアリマスガ、勤續ガ四十年ニ至リマスルト三分ノ一二ニナッテ居リマス、現在ノモノ

分ノ一デアリマスガ、勤續ガ四十年ニ至リマスルト三分ノ一二ニナッテ居リマス、現在ノモノ

分ノ一デアリマスガ、勤續ガ四十年ニ至リマスルト三分ノ一二ニナッテ居リマス、現在ノモノ

分ノ一デアリマスガ、勤續ガ四十年ニ至リマスルト三分ノ一二ニナッテ居リマス、現在ノモノ

分ノ一デアリマスガ、勤續ガ四十年ニ至リマスルト三分ノ一二ニナッテ居リマス、現在ノモノ

分ノ一デアリマスガ、勤續ガ四十年ニ至リマスルト三分ノ一二ニナッテ居リマス、現在ノモノ

分ノ一デアリマスガ、勤續ガ四十年ニ至リマスルト三分ノ一二ニナッテ居リマス、現在ノモノ

分ノ一デアリマスガ、勤續ガ四十年ニ至リマスルト三分ノ一二ニナッテ居リマス、現在ノモノ

分ノ一デアリマスガ、勤續ガ四十年ニ至リマスルト三分ノ一二ニナッテ居リマス、現在ノモノ

ハ明治三十何年カニ制定致シマシテ、多年實施シテ居リマスガ、十五圓未満カラ始ッテ七十五圓以上百圓以下ト云フ十三階級ニ分ッテ、尙ホソレヲ横ニ年々ノ累加ヲシテ、四十年勤續者ハ可ナリ恩給ニ厚クナッテ居リマスガ、之ヲ制定致シマシタ時分ニハ、小學校教員ノ俸給ハ七十五圓以上百圓以下デ、百圓以上ノ者ハ一人モナカッタデアリマス、然ルニ其後俸給令ガ一般判任官吏ノ増俸ニ連レテ改正ニナリマシテ、九十五圓迄上セマシテ、尙ホ特別ノ者ニハ百二十圓迄給スルコトガ出來ルトナリマシタカラ、其當時直ニ退隱料モ改正シナケレバナラヌデアリマシタガ、當時小學校教員デ百圓以上ヲ取ッテ居ル者ハ一人モアリマセヌデアリマシタ、此表ノ改正ハ其儘ニナッテ居ッタデアリマス、然ルニ近來各地ニ於キマシテモ、特別俸ヲ給セラレテ居ル者ガ數名アリマシテ、百四圓ガ一名、百三圓ガ一名、百六圓ガ三名、百九圓ガ二名アリマス、今百圓以上ノ者ガ退隱致シマス場合ニ於テ、今日ノ恩給法デハ之ニ相當スル恩給ヲ給スルコトガ出來ナイヤウナ不備ノ狀況ニ在ルデアリマス、搦テ加テ今回ハ千萬圓ノ國庫ノ支出モアリマスノデ、隨ヒマシテ先般來負擔法ノ場合ニモ申上ゲマシタ通り、各級ニ對シテ増俸ノ出來ル所ハ増俸モシタイ、下ノ階級ノ方ハ其儘ニ致シマシテモ、上級ニ對シテハ夫モ多少ノ増俸ヲ期シタイ積リデアリマス、唯今ノ考ハ特別俸ハ百二十圓デアリマスガ、之ヲ百二十圓ニシナケレバナラヌカト考ヘテ居リマス、サウ致シマスレバ尙更百圓以下ノ退隱料ノ表丈デハ不鈞合ニナッテ來ル譯デアリマス、又實際ノ支給高モ本年以後ハ優遇ノ實ヲ擧ゲテ、百圓以上ノ者モ多少ハ是ヨリ増加シテ參リマスカラ——又ソレヲ望ミマスカラ、百圓以上ノ者ノ欄ヲ相當ニ作ラナケレバナラヌノデ、今度此表ノ御審議ヲ願ッタデアリマス、即チ七十五圓以上百圓以下ト云フコトデ、二十五圓ノ差等ヲ一括致シマシテ最上限度トシテ居リスガ、唯今ノヤウナ趣意デ百二十圓迄上スト致シマスレバ、モウ少シ適切ナ改正ガ宜カラウト云フ考デ、現在ノ表ノ上ノ方ハ六十五圓以上、七十五圓未満ト云フ所ハ十圓、下ノ方ニ參リマスレバ、五圓宛ニ分ケテアリマスガ、六十五圓以上ハ十圓位ヲ刻ミ致シマシテ、夫ノ階級ヲ極メテ居リマス、ソレニ準ジテ、七十五圓以上ハ十圓未満、八十五圓以上九十五圓未満、漸次上ッテ百五圓以上百十五圓未満、其上ニハ餘リ小刻ミモ如何デアラウカト云フノデ、百十五圓以上百三十圓未満、即チ十五圓ノ刻ミヲ設ケマシタ、又年功加俸ヲ年々貫ッテ居ル者モアリマスカラ、是モ恩給ニ加算シマスカラ、百三十圓以上百五十圓位迄モ此表ヲ作ッテ置ケバ適切ニ往クデアラウト思ヒマシテ、唯今ノ表ノ上ニ六階段——七十五圓以上百圓以下ノ欄ヲ削ッテ、之ニ加フルニ六階級ヲ以テ致サウト云フコトニナリマシタ、サウシテ十五年カラ四十年迄ノ間ノ累進ノ關係ハ、現在支給シテ居リマス下ノ方ノ各欄ト照シ合セマシテ、大體ニ於テ其率ヲ進ムヤウニシタデアリマス、二枚目ノ表ガソレニ當リマスノデ、大體カラ申シマスレバ三百九十圓ガ十五年勤續、百三十圓取ッテ居ル者ハ三百九十圓、十五年勤續ヲ合セテワレカラ以上十六年カラ十七年十八年十九年二十年迄ハ二十圓上ゲテアル、又二十箇年以上二十五年迄ハ二十三圓宛上ゲテアル、二十六年カラ三十年迄ハ二十六圓宛、三十一一年カラ三十五年迄ハ二十九圓宛、三十六年カラ四十年迄ハ三十二圓ト、三圓宛ノ差等ヲ五年宛ニシテ、五年デ區切ヲ附ケテ、後ニハ千四十圓ト云フモノニナリマス、一千四十圓ハ三百三十圓取ッテ居ル者デ、是ハ

三分ノ二ニ當ッテ居ル、斯ウ云フ率ヲ拵ヘマシタデアリマス、ズット各欄ガソレニ準ジテ、但シ一番終ノ七十五圓カラ八十五圓未満ノハ、唯今申上ゲタヤウナコトニ依リマセヌ、之ヲ御覽ニナリマス分リマスガ、此八圓ガ少シ違フデアリマスガ、是ハ從來ノ表ガ十五圓ト云フ所カラ、ズット小刻ミニナリマシタノデ、今度唯今申上ゲタヤウニ纏メテ置クヤウニ出來マシタ、是ガ累進ノ率ヲ取ッテ居リマセヌ、大體ニサウ云フコトニナッテ居リマス、恰モ七十五圓以上八十五圓以上ト云フヤウナ工合ニ、之ヲ御覽ニナリマス等ヲ置イデアリマス、七圓、八圓先キニナリマシテ、三十一一年アタリハ十九圓、三十二年目デ二割以上ハ出入ハアリマスヤウナ譯デアリマス、是ハ此儘ニ致シテ置キマシタデアリマス、唯今七十五圓位取ッテ居リマス者ハ、稍其數モ多ウ御坐イマスシ、現在此率デ既得權ノ如クナッテ居リマシテ、七十五圓貫フ者ハ此表ニ依ルト不利益ニナルヤウナ譯デアリマスカラ、成ルベク其現在ノ者ノ利益ヲ損傷シマセヌヤウニ考ヘテ、其一番下級ノ七十五圓以上八十五圓未満ニ於キマシテハ唯今ノ現狀ノ如クシテ、十五圓未満ノ小數欄ノハ同様に上セテ、後トハ新シク十圓刻ミニシテ、唯今申上ゲマシタヤウナ累進率ヲ御坐イマス、尙ホ大體ハ御諒承ヲ願ヒマスガ、唯今ノ御尋ノ去年ノ質問ニ付テノ免許狀ニ付テノ事モ、ドウシタカト云フコトデアリマスガ、是ハ昨年モ申上ゲタト思ヒマス、或ハ考慮スルト云フコトヲ言ッテ置キマシタカト存ジマスガ、成程小學校教員ノ免許狀ハ數年前デアリマスカ、色々ノ便宜上カラ其當該府縣ノ免許狀ハ、全國ニ對シテ效力ヲ有スルコトニ、取扱上ノ便宜ノ爲ニ致シマシタ、例ヘバ茨城縣ノ小學校教員ハ東京ニ參リマシテモ、其免許狀ガ役ニ立ツヤウニ致シマシタ、是ハ免許狀ノ效力ガ、師範學校生徒ノ今日ノ如ク整一ニ歸シタ以上ハ、サウ云フ事ノ必要ハナイ、斯ウ云フ事カラ致シタデアリマスガ、ソレナラバ全國共通ニナッタラ、小學校教員ハ何處ニ行ッテモ差支ナイデハナイカ、隨テ法令ノ上カラ同一府縣内ニ勤續スル者ハ窮屈ニ過ギハシナイカ、斯ウ云フコトモ起リマスガ、是ハ昨年モ同様御坐イマシテ、尙ホ頗ル考慮ヲ要スルト考ヘテ居リマスガ、師範學校ノ卒業生ハ御承知ノ通り七年ノ義務ヲ以テ居リマシテ、當該府縣ノ知事ノ指定ニ依テ勸メナケレバナラヌ、斯ウ云フ譯ニナッテ居リマスカラ、免許狀ハ同一ニ全國ノ各府縣ニ有效ナラシメナケレバナラヌガ、一方ニ於テハ何處ヘ行ッテモ宜イト云フヤウナ弊害ヲ助長スルト云フ方ノ側ニ付キマシテハ、殊ニ慎重ニ考慮シナケレバナラヌカラ、免許狀ハ全國同一ノ效力ヲ有セシムルヤウニ致シマシタ以上ハ、其義務ヲ全ウシマシテ他府縣ニ奉職シテモ宜イデアリマスガ、サウ云フ事ヲヤリマス場合ニ於キマシテハ、サシタル支障ハ御坐イマスミイト考ヘマスガ、五年間勤續致シタナラバ其資格ヲ得ルデアリマスカラ、其間ニ於キマシテ五年以上居ルト、又其資格ヲ得ルト斯ウ云フ事ニナルデアリマスカラ、其間ニ於キマシテ多少本人ニ取リマシテハ、不利益ナ場合モアルカ知レマセヌガ、元來七年ノ義務ノ極ッテ居ルモノハ、少ナクモ七年間其府縣ニ居ラナケレバナラヌト云フ義務ヲ持ッテ居ルデアリマスカラ、先ヅ其儘宜カラウト考ヘテ居リマス、尙ホ隨テ是ハ其關係トシマシテ、改正ヲ致シテ行クベキ點モアリマスガ、尙ホ續ケヤウト云フ意味デアリマス、ソレトモウツ根本サンカラ御話デアリマシタカラ附加ヘテ申上ゲマスガ、成績ノ不良ナラザル限りハ、今日ノ遣方ニ於キマシテハ成績ノ不結果ナ者、不良ナル者、又優良ナル者ト云フモノモ見方デアリマスガ、其見方ト云フモノモ殆ド百分中九「パーセント」以上モアリマシテ、九十五

ト云フヤウナノモアリマスヤウナ譯アリマス、先ず斯ウ云フコトヲ御坐イマシテ、其點カラ督勵ヲ加ヘテ參リマスレハ、是ハ改正スルト云フコトハ、差當リ必要ハナカラウト考ヘマス
○根本正君 續イテ質問シマス、モウ一ツ伺ッテ置キタイノハ、第三ハ舍宅料デアル、即チ小學校教員ニ對シテ十分ナル手當ヲヤルコトハアルガ、其内ノ舍宅料ノコトハ、即チ二百萬圓ト云フモノヲ國庫カラ出スヤウナ事ニナッテ居ルヤウデアリマスガ、其額ハ四十一萬三千五百一十一圓、即チ是ガ舍宅及賃借料其他舍宅建設費ト云フモノト、其外二十七萬九千八百八十九圓、ソレカラ借家ヲスル人ニ對シテ二萬四千五百十三圓別ニアル、是等ヲ合セルト其金高ガ多ク與ヘテアル譯デアリマスガ、此所ニ不公平ナコトヲ見出ス、斯ウ云フ風ニ困ッテ居ル人モアルケレドモ、全體小學校教員ト云フモノハ、合計テ殆ド今日デハ十六萬人以上モアルト云フ——今日ノ調デアリマシテ、十五萬七千九百八十一人、其内ノ舍宅料ヲ貰ッテ居ル者ガ、今日デハ十二萬三千四百八十八人デアルト云フコトニナッテ居ル、サウスルト貰フ人モアルシ、貰ハナイ人モアルト云フコトヲ御坐イマスガ、吾々ハ立憲政治ニ付テ最モ注意スベキモノハ、租稅ノ取立方ト、之ヲ分配スルコトヲ公平ニヤッテ貰ハナケレバナラヌト云フ主義デアル、シテ見ルト教員ノ中デ——數萬人ノ中デ貰フ人モアレバ貰ハヌ人モアルト云フ風ニ、今迄ナッテ居ルヤウニ思ヒマスガ、是ハドウカ月給ノ高ニ應ズルカ、或ハ其他ノ方法テ免ニモ角ニモ公平ニ教員ト云フ者ヲ取扱フヤウニシタイ、成程貧乏ナ村デハ出來ナイ、金ガ有ル所デハ出來ルト云フコトニナルト、益々富ハ富、貧ハ貧ト云フコトニナッテ、ソレデハ此度ノ國庫負擔ノ趣意ニ違フデアルカラ、金ガ有ッテモ無クッテモ、國民教育ヲ土臺ニシテ、無イ付テモ矢張此住宅料ヲ貰フコトガ出來ル、金ガ有ッテモソレ相當ノ者ハ多分ニヤラナイトカ、免ニ角公平ニ教員ノ住宅料ノ如キモ、夫々御注意ガアルモノト信ジマスガ、現在ハ如何デアリマスガ、其事ニ付テ一應伺ッテ置キタイト思フ

○政府委員(田所美治君) 根本君ノ何時モ御心配ナ點デアリマシテ、御尤ナ御尋デアリマスガ、住宅料ノ規定ハ是ハ或ハ今ノ御説ニ依リマシテ、モット是ハ獎勵ヲシマシテ、大部分ノ實ハ教員ニ住宅ヲ與ヘルトカ、住宅料ヲヤルトカ、或ハ其他ノ方法テ、賃借料ヲヤルトカ云フヤウナ、俸給ノ外ニ宅料ノ支給ヲ適當ナ方法デアルト云フコトハ、何カ此方法ヲモット變ヘル餘地ガアルカモ存ジマセヌガ、唯今ノ所デモ實ハ可ナリ詳シイ規定ヲ設ケマシテ、ソレデ獎勵ヲ加ヘテ居ルデアリマス、但シ其本ノ規定ガ詰マリ是ハ二百萬圓ノ國庫カラ小學校補助費ヲヤリマシテ、其場合ニハ地方費ガ矢張二百萬圓出ス、特別ノ場合ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケマシテ、ソレヨリ減額シテ出スコトガ出來ル、斯ウナッテ居リマス、ソレガ爲ニ實ハ今日國庫カラ二百萬圓出シマスガ、今地方ノ出シテ居リマスノガ七八十萬圓許リシカ無イデアリマス、四百萬圓出スベキ所ガ二百七八十萬圓ヨリ今日ハ其小學校教育費國庫補助法ノ爲ニ濕ウテ居リマセヌ、隨テ年功加俸モサウデアリマスガ、又住宅ノ點ニ於キマシテモ、十二分ニ實ハナッテ居ルト云フ譯デアリマシテ、年功加俸ノ方ノ局限ハ六十圓マデ行ケル、斯ウ云フモノヲバ二十圓三十圓見當デヤッテ居リマスヤウナ譯デアリマス、是モ段々獎勵ヲ加ヘテ居リマスヤウナ譯デアリマスガ、隨テ住宅ノ關係ナドモ、地方ノ狀況ニ應ジテ施設ヲサスコトニナッテ居リマスカラ、田舎アタリテ別ニ住宅ヲ支給セズトモ、自費デ勤メテ居ル、物價ハ今日マデ左程高クナクシテ、住宅

料ヲ遺ル必要ガナイ、斯ウ云フヤウニ認メル所ハ其者ニ付キマシテハ、甚ダ給與ガ薄イヤウナ譯ニナッテ居ルデアリマス、ソレ故唯今御述ノヤウニ、大體十五萬ノ教員ニ對シマシテハ、一割トカ二割トカ住宅ヲ宛行フコトモ致シマセヌ、東京邊リハ低イ者ニシナイデ高給ノ者ニ住宅料ヲ漸クヤッテ居ルト思ヒマス、教員方ニハ住宅ノ賃借料ヲ幾分ツツ洵ニ菲薄デアリマスケレドモ遺ッテ居ル、斯ウ云フヤウニ承知致シテ居リマスガ、都會地邊リデ其部分ノ必要ナ所ニ向ッテハ、市町村ノ當事者モ段々分ッテ參ッテ居ルヤウナ譯デアリマスガ、方法ハ大體ニ於テ唯今盡シテ居リマスガ、尙ホ是ハ一段ノ獎勵ヲ今日ノヤウナ物價ノ騰貴ノ場合ニ於キマシテハ、遺ル必要ガアラウト思ヒマス、施設ノ上ニ於キマシテハ尙ホ一層注意ヲ致シマス

○樋口秀雄君 唯今次官カラノ御答辯ノ中デ、私共ノ質問シヤウト思ッテ居ッタ、十五年カラ二十年迄ノ増額ガ八圓七圓八圓七圓八圓ト、變ニナッテ居ル點ハ了解致シマシタガ、併シ今ノ御説明ニ依リマスルト、二十五圓以上十何回ハ同ジヤウデアルト云フ御話ガアリマシタガ、此表ヲ見マスルト五十五圓以上僅カ五階級デアリマス、之ヲ假ニ八圓ナラ八圓ト平均シマシタ所ガ、五箇年間ニ互ッテ一圓ヅツ二度デアリマス僅カナ金デアリマスカラ、斯ウ云フヤウナ恩給其他類似ノ救恤ノ意味ヲ持ツタモノハ、成ルベク標準ヲ公平ニシタ方ガ宜クナイカト思フ、ナセ改正ノ時ニ僅カ一圓ノモノヲ五箇年ニ互ッテ二度デアリマスカラ、ソレ丈増シテ平均リレナカッタカ、ソレヲ一ツ伺ヒタイ、ソレカラ尙ホ六十五圓以上七十五圓未滿ト、七十五圓以上八十五圓未滿ノ所デ、初メカラ約七階級許リ四十圓増シテ來タノガ、一躍シテ八十圓増ス——増スノハ結構デアルガ、茲ニ段落ヲ附ケテ是以上八十圓ニサレタノデアリマスガ、其趣意ガ私ハ明瞭デナイ、此二點ヲ伺ヒタイ

○政府委員(赤司應一郎君) 御答ヲ申上ゲマスガ、實ハ現在出來テ居リマス所ノ退隱料ノ配付ノ工合ハ、在職十五年ニナリマシタ者ニハ二百四十分ノ六十、即チ四分ノ一ヲ與ヘルト云フ立方ニ致シマシテ、其後五年ヲ増ス毎ニ、其五年ノ間ニハ——詰マリ十六、十七、十八、十九、二十ト云フ此五箇年間ハ又二百四十分ノ一ヲ年々増シテ行ク、ソレカラ其後ノ五箇年間ハ又二百四十分ノ三ヲ増シテ行ク、斯ウ云フ風ニ累進率ヲ取ッテ居リマスデアリマス、隨テソレヲ各年ニ割當アマス、時ニ端數ガ出ルデアリマシテ、何圓何十錢ト云フ端數ガ出ルデアリマスカラ、或所ニ於テ之ヲ整理シナケレバナラヌ、斯ウ云フ所カラ妙ナ工合ニ或所ハ八トナリ或所ハ七トナル、斯ウ云フ端數ガ出タ結果トシテ、現在ニハサウナッテ居ルデアリマス、是ハ甚ダ法トシテ體裁ガ惡ルウ御坐イマスノデ、今度出來マシタ所ニ於キマシテハ、三トカ云フヤウナ數ヲ略シテ下ヲ合セマシテ、サウシテ二十五五年カラシテ二十年ト云フ所ヲ中心ニ致シマシテ——ソレデ二十六年カラ二十年迄ヲ基本ト致シマシテ、ソレカラ上ノ片方ハ三圓ヅ、増シテ行ク、ソレカラ二十四年ノ方ニ下リマシテハ、五箇年ノ間ハ三圓ヅ、下ゲテ行ク、斯ウ云フ方針ヲ採ツタ、其方ガ却テ簡便デ且ツ公平デナカラウカ、斯ウ云フノデ今度立デマシタ方ニハ其主義ヲ採ッテ居ルデアリマス、第二ノ御尋ハ一寸明瞭致シマセヌデシタガ
○樋口秀雄君 第二ヲ申上ゲル前ニ、今ノ點ニ付テモウ一度伺ヒマスガ、端數ガ出ルト云フ御話デアリマスガ、其端數ノ出ルト云フ計算ハ總教員數ノ——此年限及俸級

ノ差額ニ相當スル教員數ノ總數カラ見テ、端數ガ出ルト云フ御話デアリマスガ、若クハ外ノ計算カラ來テ端數ガ出ルデアリマスガ、孰レニシマシテモ僅カナ妙ニ多カッタリ少ナカッタリシヤウナ、累進率カ累進率カ表現シテ居ルノハ——今回ハ五十五圓以上カラ八十五圓未滿マデハ四階級ニ過ギヌ、是位ナモノハ平均サセテ公平ト云フ原則カラ云ヒマシテモ、若クハ表ノ體裁等カラ云ヒマシテモ、之ヲ平均サセル金ハ幾許デモナカラウト思フ、ツレガドウシテ斯ウナルカト云フ事ヲ質問シマシタ所ガ、田所次官ノ御答ハ既得權ニ對シテ減ラスノハ氣ノ毒デアルケレドモ、ツレハ減ラスノデアル、併シ既得權ニ對シテハ或種ニ於テ一圓増シテアル、多ク給シテ不平ヲ言フ者ハ無イト思フ、之ヲ改正スル際ニドウシテヤラヌカト云フノガ第一ノ質問デス、第二ノ質問ハ五百二十圓カラ一躍シテ六百圓トナッテ居ッテ、八十圓増シテ居ル、其下ガ四十圓、終リガ三十二圓ト云フ累進率ガ、四十圓カラ八十圓ト急ニ飛シタノハドウ云フ累進率デアルカ、四分ノ一増加シタノナラバ五十圓デ宜サ、ウナモノデアルノニ、一躍シテ八十圓ニナルノハドウ云フ譯カト云フ質問デス

○政府委員(赤司鷹一郎君) 第一ノ御尋ニ對シテハ、是ハ吾々ノ方ノ考デハ從來モ既ニ五十五圓以上ノ所ニ於キマシテハ、大分此恩給ヲ受ケテ居ル者ガ多イノデ御坐イマスルカラシテ、之ヲイザルト云フコトハ却テ非常ニ錯雜ヲ來シハセヌカ、斯ウ云フ考カラ此處ヲ暫クイザラナイデ置イテ、是ト併セテ七十五圓以上ノ所ヲ改正シヤウト云フノガ今度ノ改正ノ要旨ニナッテ居ルノデ御坐イマス、ツレカラ第二ノ御尋ノ六百圓カラ八百八十圓、七百六十圓ト云フ風ニ違ッテ居リマスルノハ、是ハ俸給額ノ二分ノ一ト云フ數ニ當ルデアリマシテ、是ハ自然ノ結果ニナルデアリマス、俸給ヲ受ケテ居リマス俸給金額ノ二分ノ一ト云フモノハ、サウ云フ數ニナリマスト……

○樋口秀雄君 赤司局長ノ御答辯デアリマスガ、之ヲ計算シテ見マスト、サウナリマセヌ、六十五圓以上七十五圓未滿ノ所ハ四分ノ一ニナリマスガ、七十五圓以上八十五圓未滿ノ所ハ四分ノ一ト云フト六百圓ガ多ウ過ギル

○政府委員(赤司鷹一郎君) 一寸分リマセヌガ、七十五圓以上ト云フ所ノ四十年目ノ所デ御話ニナッテ居リマスガ

○樋口秀雄君 サウデス

○政府委員(赤司鷹一郎君) ツレハ三分ノ二ニナッテ居リマス

○樋口秀雄君 三分ノ二デモ十圓違ヒデ八十圓ハ出テ來ナイ

○政府委員(赤司鷹一郎君) 七十五圓ノ詰マリ三分ノ二ハ六百圓ニナルガラウト思ヒマス、ツレカラ八十五圓ノ三分ノ二ハ六百七十圓ト云フ數ニナルト思ヒマス

○樋口秀雄君 上ノ方ハサウデスガ、下ノ方ハサウ往ッテ居ラナイ

○樋口水七郎君 一寸伺ヒマスガ、樋口サンノ御尋ニナッテ居ルノハ、六十五圓以上七十五圓未滿ガ五百二十圓デアル、ツレ迄ハ四十圓累加シテ居ルノニ、今度改正サレントスル此表ノ朱書ニナッテ居ル所ノ七十五圓以上八十五圓未滿ノ所ガ六百圓、此差ガ八十圓、ツレカラ各、八十圓宛進シテ居ル、何故八十圓一躍シテ増スカ、斯ウ云フヤウナ意味ノ御質問デアル、私モサウ考ヘテ之ヲ拜見シテ居リマシタ所ガ、此初メノ方ハ五十五圓以上六十圓未滿、六十圓以上六十五圓未滿ガ五圓刻ミニナッテ居ッテ、上

ノ方ガ十圓刻ミニナッテ居ルカラ、如何ニモ二倍宛殖エルノハ宜イカモ知レマセヌガ、其中ノ六十五圓以上七十五圓未滿ノ所ガ十四飛シテ居ル、サウスルト四十圓ノ差ガ此所ニアル、其上ガ七十五圓以上八十五圓未滿ノ所ガ八十圓、五圓ノ差ガ四十圓デアラナラバ、ドウ云フ譯デハ六十五圓以上七十五圓未滿デハ十圓飛バナイデアリマスガ、此一欄丈ガ不思議ニ見エマスノデ、樋口サンノ質問モツレト似タ質問デハナイカト思ヒマス

○政府委員(田所美治君) 斯ウ云フ事デ説明ガ出來ハシマセヌガ、普通學務局長カラ申上ケタノハ、二十圓ノ所モ六十五圓ノ所モ三分ノ二トカ四分ノ一トカ申シマスノハ、實ハ低イ所ノ六十五圓以上七十五圓未滿トアレバ、六百五十圓取ッテ居ル者ノ標準割ガ、四分ノ一ニ始マシテ三分ノ一デ終ル、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、ツレデ五百二十圓ト云フモノハ、即チ六十五圓ヲ取ッテ居リマス者ガ年俸七百八十圓デアリマスカラ、ツレノ三分ノ二ハ五百二十圓、斯ウ云フ事デツレハ出シテ御坐イマスノデ今度七十五圓ト云フ一番上ヲ見マスト、其標準ハ四分ノ一ガ二百二十五圓デ、三分ノ二ガ六百圓ニナル、斯ウ云フ事ニナッテ居ルデアリマス、是ハズット下迄一貫シテサウナッテ居リマス、ツコデ其中間デ、先程申シマスヤウナ二十五年カラ三十年迄ヲ中心トシマシテ、其右ノ方ハ三圓宛増加シ、左ノ方ハ五圓宛上ゲル、兩極端ノ四分ノ一ト三分ノ一ト、低イ方ヲ標準トシテ定メテ居ルノデ、其點ハズット合ッテ居ルヤウニ見エマスガ

○樋口秀雄君 サウ大シタ問題デハナイノデスガ、ドウモ御答辯ガ分リマセヌ、六十圓以上六十五圓未滿ノ所デ三分ノ二ガ四百八十圓、其所迄ハ宜イケレドモ、六十五圓以上取ッテ居ル者ガアル、假ニ七十二圓取ッテ居ル者デ四十年經テ罷メルハ、以前ノヤウナ救恤ノ趣意カラ言ヘバ、モウ少シ増シテ貰フデモ宜イノニ、四十圓ノ増ニシカナッテ居ラヌ、ツレガ私ニハ分ラヌ、最低ノミデ計算シテ居ラレ

○政府委員(田所美治君) 是ハマア其所迄小刻ミヲシマスレバ、尙ホ宜シキヲ制スルカモ知レヌデアリマスガ、詰マリ五圓違ヒ十圓違ヒ、上ノ方ニ往ッテ十五圓違ヒマデ拵ヘタノデアリマスガ、其高イ所ノ方、即チ今樋口サンノ仰シヤル七十二圓トカ、七十二圓トカ取ッテ居ル者ハ、ドウモ少シ其率カラ言フト割合ガ惡ルイヤウニナッテ居ルデアリマスガ、ツレハ現在支給シテ居リマスノハ十五圓未滿カラ十三階級アリマス、現ニヤッテ居リマス、恩給法ガサウナッテ居リマスノデ、是ハ大體ニ於テ五圓違ヒ十圓違ヒ、上ノ方デ八十圓違ヒ、其上ハ十五圓違ヒ、斯ウ云フモノニ付テ見マズレバ、尙ホ正確ヲ期シタイト云フ氣持モシマスガ、サウスルト六十五圓ハ何ボ、六十六圓ハ何ボト、ズット百二十圓迄アレバ、百二十階級ニシナケレバナラヌコトニナルノデ、凡ツノ所デ下ハ五圓宛一纏メニシ、其上ハ十圓刻ニ、其上ニ行ッテ百十五圓以上ハ十五圓位デ宜カラウト云フノデ、是ハ常識ノ上カラ決メテ譯デアリマス

○樋口秀雄君 ツコガ先刻ノ御話デ、今度ハ便法ヲ採ッテ、二十年カラ二十年ヲ計算ノ途中デハアルガ、ツレカラ上ヲ極メタト云フコトデアル、然レバナゼ爰デ極メナケレバナラヌカト云フ考ヲ持ッテ居リマスノデ、ツレデハ六十五圓ヨリ七十圓ト云フコトニスレバ、ツレハ中間ニシタトサウ云フ計算ニ合フト思フノデアリマス

○荒川五郎君 樋口サンノ御話モアリマスガ、凡ツ是ハ七十五圓以上トスレバ七十五圓ヲ取リ、六十五圓ト言ヘバ最下級ヲ取ッタノデアッテ、其趣旨ハ一貫シテ居ルカラツレ

ハ宜イガ、全體斯ウ云フ表ヲ作ルカラ、不公平ガアルト云フノ疑問モ起ルノデ、ナゼ之ヲ官吏恩給法ト同様ノモノニシナカッタカ、例ヘバ此不公平ニナルノガ一番上ノ百二十圓未滿ノモノハ、四十年デ九百二十圓デアル、デアリマスカラ、年功加俸ナド貰ッテ萬一百二十九圓ト云フ月給ヲ取ル人ガアルトスルト、此百二十九圓ノ者ハ四十年デ九百二十圓デアル、ソレガタツタ月給一圓餘計ノ百三十圓ト云フ者ニナルト千四十圓デ、即チ是ガ大變テ違ヒニナル、一箇年二百二十圓、月二十圓ノ違ヒニナル、月給タツタ一圓違フ者ガ恩給月二十圓宛違フト云フモノニナル、是等ハ實ニ非常ナル不公平デアッテ、斯ウ云フコトハ何圓以上何圓以下ト云フ分界ヲ立テルカラサウナルノデアル、サウデナク之ヲ官吏恩給法ニスレバ、斯ウ云フ面倒モナク、即チ月給ニ應ジテ不公平ナク平等ニ行ケルト思フ、然ルニ斯ウ云フ表ニシタノハドウ云フモノデアリマセウカ、實クハ是ハ矢張給料ニ應ジテノ恩給デアリマスカラ、今云フ月給僅カ一圓違ヒテ恩給月二十圓モ違フト云フヤウナモノハ、ソレハ極端デアリマスカラ實際アル例デアリマス、デアスウ云フモノガナイヤウニ、是ハ官吏恩給ノ例ニシタ方ガ宜イト思ヒマスガ、ソレハ出來ヌ理由ガアリマスカ
○政府委員(田所美治君) ソレモ一ノ御尤ノ御意見ト思ヒマスガ、先刻自分ノ申上ケマシタ如クニ、此法律ノ制定ハ、即チ官吏ノ恩給法ニ依リマセヌデ、特別ニ斯ウ云フ小刻ミヲ致シテ、最上限度ハ官吏恩給法ハ三分ノ一デ止メルト云フコトニナッテ居リマス、ソレヲ三分ノ二迄モ上スコトニシタ、斯ウ云フ事ヲ土臺ニ置キマシテ、サウシテ其間ニ於テ當初此別表ヲ作ツタ時ニ、種々工夫ヲ凝ラシ、當時ノ制定ガ斯ウ云フヤウニ、七十五圓以下ニ付テハ御覽ノ通り十三階級モ出來テ居ルノデアリマス、是デ年來支給シ來ツタノデ、細ク申スト實ハ初メノ方ハ四分ノ一強ニナッテ居リマス、當時十五圓カラ三十五圓位ノ間ガ一番教員ノ多數ヲ占メテ居ルヤウナ譯デアッテ、一番恩典ヲ蒙ルノガ三十五圓三十五圓、或ハ其以下ト云フ位ノ所デアリマス、爲ニ之ヲ各階級ヲ御覽ニナリ、精細ニ見マス、餘程サウ云フ實情ニ應ズル遣方決メテ居ルノデアリマス、十五圓ノ所ト四十圓ノ所ハ今申サウニ、其中間ノ關係或ハ縦ノ階級ノ刻ミ方ニ付テハ、餘程工夫ヲ當時凝シテ居ッタト思ヒマス、之ヲ今日制定スルトシテ、先ヅ表式デモマルデ白紙ニシテ拵ヘルト云フコトニナレバ、モウ一層適切ニ理論ニ適ツタモノガ出來マセウト思ヒマスガ、最初ニ申ス如ク問題ハ七十五圓以上百圓以下ニ限定シテ、既ニ百二十圓モ取ル者ガアルノニ、ソレニ對シテハ恩給ノ法ガ無イト云フノハ、法ノ不備デアルト云フノデ、之ヲ直サウト云フノガ目的デアリマシテ、此表ヲ白紙ニシテ全體ヲ改正スルト云フ考デハナイノデアリマス、若シソレヲ致サウト云フコトニ付テハ、先程普通學務局長並ニ私カラモ申上ケマシタヤウニ、非常ニ複雑デアッテ、又多年取來ツタル者ニ付テモ、或ハ上ル者モアリ下ル者モアッテ、即チ或ハ既得權ニモ關係ヲ來スノデアリマス、其宜キヲ得ルト云フ理論カラ行ケバ、其通りニスルガ正シナルカ知レマセヌカ、今日ニ於テハ小學校教員ノ退隱料ハ、官吏ノ恩給ヨリ一層良ク、尙ホ良クナレバ宜シイト云フ位デアッテ、大體現行ノ通りデ何等ノ不足モ感ジテ居リマセヌ、唯、不足ノ所ハ百圓以上ノモノヲ作ル、斯ウ云フ所デ即チ先キニ申上ケマシタヤウナ改正ヲ加ヘタイ、斯ウ云フ次第デアリマス、ソレデ實ハ七十五圓以下ノ所ハ精細ニ御點檢ヲ願フト云フ、或部分ニ對シテハ實情ニ適フヤウニ、下ノ方ハ厚クシテ居ル所モアリマス、例ヘバ三圓幾ラトナル所ヲ四圓ニ上ゲルカ云フ工夫

ヲ凝ラシテアルノデアリマス、ソレデ此方ハ先ヅ今日ノ所是デ宜カラウ、斯ウ云フ考デアリマス
○荒川五郎君 御説明ハ分リマシタガ、此官吏恩給ノ方ニシタイト云フノハ、強チ之ヲ三分ノ一ニシタイト云フノデハナク、ソレハ三分ノ一デモ何ボデモ構ハヌガ、唯、官吏恩給ノヤウナ刻ミ方ニスレバ、月給ハ百圓デモ百二十圓デモ、百五十圓取ル者ガアッテモ宜イト思フノデアリマス、然ルニ之ヲ斯ウ云フ風ノ遣方ニスルト、今申ス通り月給僅カ一圓違ヒテ、恩給ハ月二十圓モ違フト云フコトヲ生シ、折角親切ノ考ガ何ノ效モ無イコトニナルト思ヒマス、若シ月給ノ少チ部分ニ餘計恩給ヲ遣リタイト云フナラバ、三分ノ一ニ何ボ加フルトカ云フコトニスレバ、少シモ差支ナイノデ、政府ガ下級者ニ厚クシテヤウト云フ趣意ハ達セラレヌコトハアルマイト思ヒマス、此階級ヲ附ケルト云フコトハ、其階級ノ未滿ト云フ所ト、以上ト云フ所ノ僅カノ所デ、十三階級ナラ十三通り、不公平ガ生ズルノデアリマス、之ヲ甚ダ遺憾トスルノデア御尋シタ譯デアリマシテ、今更貴族院ノシタモノヲ、改正シテ費フト云フコトモ出來マイト思フノデアリマスケレドモ、公平ニ均等ヲ尙ブ爲ニ、將來御考慮ヲ御願申シタイノデアリマス
○川口木七郎君 一寸伺ヒマスガ、是ハ市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法律改正案ト云フコトニナッテ居リマスガ、表ニハ遺族扶助料ト云フモノガ別ニアッテ、ソレト是トハドウ云フ關係ニナッテ居リマスガ、今度教員ノ増俸ニ伴フ、サウ云フモノハ遺族扶助料ニ關係ヲセヌノデアリマスガ、ソレヲ承リタイ、モウ一ツハ表ニ載ツテ居リマスル月給幾圓以上ノ者ノ退隱料ハ、是ハ退隱シタ時ノ給料ニ依テ相違ガアルノデアリマスカ、十五圓カラ始メ二十圓、三十圓、四十圓ト云フヤウニシテ、舊イ位地ニ長ク居ッタ者ト順序能ク早ク昇級シタ者デモ、勤続年限ガ均シケレバ同一ノ退隱料ヲ與ヘルト云フ事ニナッテ居リマスガ、理窟デハナイノデ、事實ヲ伺ヒタイト思ヒマス
○政府委員(赤司鷹一郎君) 御答申上ゲマス、遺族扶助料ハ、小學校教員ノ受ケテ居リマスル退隱料ノ三分ノ一ヲ支給スルコトニナッテ居リマス、第二ノ御尋ハ退職當時ノ俸給ヲ標準ニシテ退隱料ノ額ヲ決メルノデアリマス、前ノ經歷ハドウデアッテモ構ヒマセヌノデ、退職當時ノコトデ計算スルノデアリマス
○樋口秀雄君 本會議デ荒川君カラ質問ガアッテ、大臣ニ於テモ尤モノ事デアッテ、當局モ考慮中デアルト云フコトデアリマシタガ、准教員カラ正教員ニ昇ル者ハ、准教員勤務中ノ年限ヲ加算ニナリマス
○政府委員(田所美治君) 准教員ノコトハ、負擔法ノ時ニ根本君カラ御尋ガアリマシテ、又荒川君カラノ御氣付モアリマシタガ、准教員ハ今日ノ制度ニ於テハ何等待遇ガ無イノデ、判任待遇デアリマセヌ、之ニ反シテ正教員ハ判任待遇ヲ受ケルノデアリマス、又一府縣二十名ヲ限ッテ、奏任ノ待遇ヲ受ケルコトニナッテ居リマスケレドモ、准教員ハ何等ノ待遇モシテ無イノデアリマス、國家ノ官吏制度ノ上カラ見ルト、判任待遇デナク、一個ノ雇傭ノ契約デ普通ノ雇デアリマス、此點カラ言フト代用教員トモ變リマセヌ、其當不當ハ別トシマシテ、永年ヤッテ來テ居ル點カラ考ヘマスルト、成ルベク准教員ヲ罷メサシテ正教員ニ代ラシメル、即チ准教員ヲ驅逐シテ、正教員ノ資格ヲ得サスト云フコトデアッテ來タノデアリマシテ、教育ノ改善ヲ圖ルニハソレデナケレバ行カヌト思ヒマス、年々

其方針デヤッテ來テ、今日ハ數年前ノ三四萬人ノ者ガ、一万二三千人シカ居ラヌノデアリマスカラ、一日モ早ク正教員ニ移ラシムルト云フコトヲ標的ニシテヤッテ居ルノデアリマス、是ハ先日モ大臣ガ申シタコトデアリマスガ、唯今申シマシタ通り、何等資格ヲ有シテ居リマシヌノデアリマシテ、恩給ヲアルト云フコトニナルト、恩給法ノ根本カラ改正シナケレバナラヌノデアリマシテ、官吏モ雇ヲ十年モヤッテ、後ト五年判任官デアッタトスレバ、前ノ分ヲ加ヘテ十五年ト通算シテ宜シト云フ問題ヲモ考ヘネバナラヌト思ヒマス、ソレデ准教員ノ待遇ニ付テハ、新タニ判任待遇ニスルカドウカト云フ點カラ攻究セネバナラヌト思ヒマスガ、中々實行ハ前途遠シアルト云フコトデアリマスレバ、新タニ斯ウ云フヤウナ改正ヲ促スノモ宜カラウト思ヒマスガ、實際ノ場合ニハサウ云フコトニモ及ブマイト考ヘテ居リマス、尙ホ准教員ニ付テハ特別ノ場合、即チ職務ノ爲ニ斃レ、或ハ職務ノ爲ニ疾病ニ罹ッタト云フ場合ニハ、今ノ退隱料法ノ特別ノ規定デヤッテ居リマス、即チ雇員教員デアリマスケレドモ、職務ノ爲ニ疾病ニ罹リ、又ハ傷害ヲ受ケテ退職シタ者ニハ、在職中ノ四分ノ一ノ退隱料ヲ給スルコトニナッテ居リマス、是等ハ教員ヲ尊重スル方カラ特別ノ例ヲ開イテ居ルノデアリマス、其以上ニ於テハ、普通ノ勤続十五年ト云フコトニ付テハ、何等資格ノ無イ者ニ對シテ正教員ノヤウニヤルト云フコトハ致シテ居リマセヌ、是ハ尙ホ考慮ヲ致ス積リデアリマス

○樋口秀雄君 今ノ准教員ハ判任待遇ニナッテ居ルト云フコトハ明瞭デアリマスガ、准教員ヲ十年ナラ十年勤メタ者ガ、更ニ正教員ノ試験ニ合格シタトキニ、前ノ十年ノ勤続年限ヲ見テヤラヌノハ致方アリマセヌケレドモ、ソレヲ半分丈ケ加ヘテヤルト云フコトハ然ルベキ事ト思ヒマス、之ニ對シテ文部省ノ方デ御考慮ガ無イカト云フコトヲ御尋シタノデアリマス

○政府委員(田所美治君) 尙ホ此點ハ教員優遇ノ今日デアリマスカラ、之ニ漏洩ガアリマスレバ、何等カノ方法ヲ案出シテ見ヤウト考ヘテ居リマス、ソレカラ之ニ對シテ官吏ノ恩給ノ如ク増シテ行ク、即チ累加シタラドウカト云フコトデアリマスガ、新タニ制度ヲ拵ヘルトキニハソレガ宜イカモ知レマセヌガ、免ニ角此表ニ基キマシテ、前ニ申シマシタ通り多少厚クスルト云フコトニ付テハ、手加減ヲ加ヘテヤッテ居ルノデアリマスカラ、ソレヲ基トシテ考ヘルト、今度ノヤウナ真中ヲ標準トシテ、二圓ヅ、上下ヘ差等デモ付ケタラ當ヲ得ルデアラウト考ヘテ居リマスルノデ、意見ト致シマシテハ、新シク制定スルコトカ、全部更ヘルト云フ機會ガ參ッダナラバ、十分考慮ヲセネバナラヌト思ッテ居リマス

○荒川五郎君 將來若シ改正ノ場合ニハ、今ノヤウナ事モ考慮ヲ願ヒ、ソレカラ既ニ與ヘテ居ルモノハ是ハ其儘トスウセラレテ、將來與ヘルコトニ改正セラル、ト云フコトナラバ、格別不便ハアルマイト思ヒマス、御相談申上ケマス、ソレカラ雇員助教員ノ通算ニ付テハ、私モ雇員ト云フモノハ之ヲ通算シテ宜イト思フ、既ニ本會議デモ申上ケタヤウニ、下士官ノ恩給基金ハ、下士官デモ何デモソレデヤッテ居ル、是ハ全ク制度ヲ異ニシテ居ル、兵役ノ方デサウ云フコトニシテ居ル、然ルニモ拘ラズ其場合ニ於テ、小學校教員杯ニ於テハ通算セラレテ居ラヌト思フ、サウスルト軍人ノ方ニ於テハヤッデ、マルデ木ト竹ヲ接イダヤウナコトヲシテ居ルガ、官吏モ雇員ヲ置イテアル、況ヤ教員ハ人數ガ一万位アルト云フコトデアル、殊ニ是ハ弱者デアリマスカラ、此弱者ニ御同情下スッデ、夫等ノ

場合ヲ一ツ御考慮ヲ願ヒタイノデアリマス、ソレカラ一寸茲ニモウ一ツ質問シタイノデスガ、ソレハ退隱料ノコトデアリマス、此規則ニハ學校教員ノ恩給、巡查ノ規則モアリマシテ、府縣ニハ小學校教員恩給ハナイ、巡查看守退隱料ト云フモノモアル、之ニハ恩給ト云ッテ居ル、普通文官デモ武官デモ、之ヲ恩給ト云ッテ居ルノミナラズ、小學校教員ノ退隱料ニ對シテモ、府縣ニ依テハ恩給退隱料ヲ置カレテ居ルト思ヒマス、然ルニ此法律デハ與ヘナイコトニナッテ居ル、文官武官ハ恩給ト云フノミナラズ、唯今ノ巡查規則デハ恩給ト云ッテ居ルノニ、何故是ハ斯ウナッテ居リマスノカ、何カ理由ガアリマスカラ御尋致シマス

○政府委員(田所美治君) 私自身モ實ハ時々サウ云フ感シヲ持ツノデアリマス、ドウモ退隱料ト云フノ根本サンハ「タイオン」料ト御話デ御坐イマスガ、是ハ特別ノ名前デ御坐イマシテ、違ッタモノデナイト思ヒマス、何デモ理由ハ御坐イマスマイガ、調べテ見ルト今日デハ本官ノ方ヲ恩給ニシテ、サウシテ巡查トカ教員ノ方ハ退隱料、看守モ退隱料、何方ガ早イカ知ラヌガ、何方カニ準ジテ、其待遇者ハサウ云フ事ニナッテラウト思ヒマス、本官ノ待遇者ノ方ハ恩給基金ト云フモノデヤッテ居リマス、教員ノ方モ恩給トシテ特別ノ名前デ報ッテ居リマスガ、是ニハ多少ノ矛盾ガ御坐イマスガ、斯ウ云フ風ニ唯ダ年々仕來ッテ居リマスノデアリマス

○根本正君 荒川君ノ御質問ハ洵ニ結構ナ事デアリマス、例ヘバ此貯金杯モ政府ノ遣方ハ洵ニ緻密ヲ缺イテ居ルヤウナコトデアリマシテ、三十日ニ貯金ヲ持ッテ行ッテモ其月ノ利子ヲ付ケルノデ、皆ナ二十日ニ持ッテ行クヤウニナッテ居リマス、ソレデ同ジ事デアルカラサウスル、此組立方ハ實ハ不完全ト思ヒマス、併ナガラ是等ヲ以テモ今日ハ是デ閉デテ、モウ一回開イテカラ御決議ニナルコトヲ希望致シマス、今日ハ是デ會ヲ閉ゲルコトニ致シタイ

○委員長(渡邊祐策君) ドナタモ御諮リ致シマスガ、質問ハ是デ打切りニシマスカ

〔質問打切り〕ト呼フ者アリ

○委員長(渡邊祐策君) ソレデハ質問ハ是デ終了ト見テ、又明後日デモ開會致シマセウカ

○樋口秀雄君 多少質問モシマシタガ、是ハ既ニ貴族院ハ通過シタノデスカラ、大體御異論モナイヤウデアリマスカラ、此討論ハ、今日ハ散會シテ、次ハ本會議中デモ許可ヲ得テヤリタイト思ヒマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○委員長(渡邊祐策君) シレデハ今日ハ是デ散會致シマス

午後二時四十一分散會